

私の博物誌

題字 石川進

第二十八回 「一石五鳥① フデキクン」

娘の協力で手に入れた古本の大辞林を机上に置き、「一石二鳥」を引く。「一つの石を投げ、二羽の鳥を落す意」とあり、「一挙兩得」とも記されている。

因みに「一石五鳥」はあるかと思ひ、広辞苑、日本国語大辞典、大言海なども調べたが、一石五鳥は無かった。

一石二鳥は、日常の中で起こり得る望外の好事の例えとして用いられる言葉だ。当然のことながら、一石五鳥などあり得るはずは無いことは、知った上での検索だった。

昨秋九月十一日のこと。一日で「一石五鳥」を体験することが出来た。妻と東京都区への往復特急料金が、その日の五鳥を得るための一石だったことが、帰宅後しみじみと知ることになったのだ。

以下、順次体感の顛末を記してみよう。途中、列車は徐行する程の聚雨の木曜日。推測通りの行動は、短時間での五鳥を

私達に与えてくれた。遅れた列車を降りても雨は降り続き、昼食を取ってから上野公園の中へと向かった。

普段とは敢えて逆のコースを辿るのが予定の行動で、人の流れとは逆で幸いしたのだった。

まず「太古の哺乳類展」―日本の化石で辿る進化と絶滅―と題し、国立科学博物館での特別展は見応えのあるもので、現代の私達には決して見ることができない生き物達の化石によって、日本の新生代を理解するという内容なのだ。

小中学生の賑やかな声の群に、少年時の自分の顔が重なって見える。未来を託す子供達は年こそ遠く、同好の志でもある。中年・老人など多彩な顔ぶれも続く。思うに深い興味に衝き動かされて、年齢や性別、人種などは軽々と跳び越え、知ることの為に蟬集した人々だ。

会場を回るうち、奇妙な気持ちで頭を擡げて来る。こちらは夢中で石化した生き物

達を見ていると思ひながらその実、反対に古い動物の化石に数珠のように繋がって移動する人間達のさまを、じつと見ながら面白がられているような気がしてくるではないか。

活発な子供達、身だしなみの整った青年や美しい婦人も一緒に行動なのだ。後髪がすっかり無くなって、光る頭の老人を古代の生き物達にはどのように見えるのだろうか、と思うとおかしさが込み上げてくる。

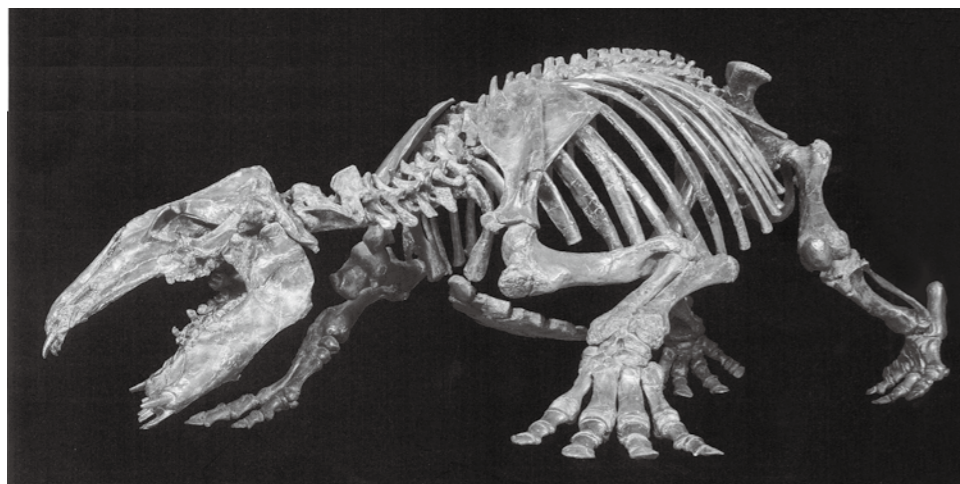
限りある時間を大切にしたいので、主要なものを重点的に見るため、目的に向かって急ぐ。「束柱類」といわれる生き物達で、最大の特徴は臼歯だ。名の示すように何本かの細い円柱を束ねた形で一本の臼歯を形成しているのがこれ等、二科、五属、十一種に共通する特徴なのだ。

デスマスティルスは、東(デスマス)円柱(スティルス)のラテン語表記から、同パレオパラドキシアは昔、古い(パレオ)不思議な(パラドキシア)のことを改めて記憶の引き出しに入れた。

他に長鼻類(象類)は、予想をはるかに超える種が生活し、大陸から離れた日本が島国になってからは矮小化していった過程は、興味深い。

妻が出口の売店で買った小さな縫いぐるみのパレオパラドキシアは、売れずに残るのでは？と気の毒に思い、一番出来のものを選んだという。ヒゲは縮れ、目が一つ外れそうでも出来が悪いので買ったというのだ。

「パレオクン」の愛称があるのだが、妻は「フデキクン」と呼ぶわ！との話に、静かな売店の周囲に爆笑が起った。私達は東洋館を目指して歩き出した。



パレオパラドキシアの復元骨格(泉標本) = 『太古の哺乳類展』図録 2014 国立科学博物館、読売新聞社より



パレオパラドキシアのフデキクン



書いている人

石川 進

いしかわ・すすむ

一九四二年、いわき市平生生まれ。石川紋店代表。家業のかたわら、幼少から書に親しむ。書の世界で培った点・線・面と墨・紙・水の生理を追求し、石刻による印とのコラボによる抽象、具象の絵画表現を展開。書学書道史学会会員、書法探求顧問

そのホームページ リニューアル しませんか？

ホームページを立ち上げたもののそれきりになっていませんか？何年も更新されず、古い情報のままでは、宣伝効果もマイナスです。「当時は予算が取れたけれど、今は…」という企業様でもお気軽にご相談ください。ご予算に応じてコーディネートいたします。




- 古い情報のままではマイナスです。
- より多機能に。イメージだけでも OK!!
- ご予算に応じてコーディネートします。

料金等の詳細は、弊社までお問い合わせください

月刊 いと

(株) いわきジャーナル
福島県いわき市鹿島町走熊字小神山29
(ヤスミツ第1ビル2-A)
TEL.(0246)29-2424/FAX.(0246)29-2425
E-mail.read@iwaki-j.net

故人を送る厳粛な儀式。祈る心を真心こめて やすらぎの杜遠野がお手伝い致します。

やすらぎの杜遠野

〒972-0161いわき市遠野町上遠野字赤坂27-1
TEL.0246-89-4777